

北空知E小・中学校における地域との連携・協働による『ふるさとキャリア教育』カリキュラム系統表

補助資料1

教科等		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
教科	書de交流プロジェクト・雨電短歌プロジェクト（国語）									
	きれいにさいてね、わたいのはな（生活） ねいろと つよさ（音楽） あたらしい1年生をむかえよう（生活）	まちが大好きたんけんたい（生活） めざせ野菜作り名人（生活） 保育園児とあそぼう（体育） おまつりの音楽（音楽）	まちの様子（社会） メロン農家見学（社会） 店ではたらく人と仕事（社会） 水の学習（社会） 火事からまちを守る（社会） 事故や事件からまちを守る（社会）	水はどこから（社会） こみはどこへ（社会） 昔から今へと続くまちづくり（社会）	田んぼでアート（図工・学活） 保育園児と給食を食べよう（学活）	租税教室（社会） 金融リテラシー授業（家庭）	人権教室（道徳）	救急救命講習（保健体育） 金融リテラシー授業（家庭）	地方自治と住民の参加（社会） 租税教室（社会） 消費者教育（社会）	
	『雨電町ふるさとキャリア教育』のねらい 雨電の子どもたちに ○将来職業人や社会人として自立する上で必要な能力や態度を育てる。 ○主体的に学ぶ意欲と目標を持って努力する態度を育てる。 ○ふるさと雨電への愛着の心を育てる。 ねらい達成の方策 地域を学びの場として、小中9年間の発達段階に応じて人間としての在り方や生き方の探求を促していく活動を編成・実施する。									
その他	読み聞かせ									
総合的な学習			水の学習	稲作体験	稲作体験	桜の植樹 田んぼでアート（田植え・稲刈り）	雨電沿登山 保育園訪問	職場体験学習 高齢社会に生きる（雨電寿園）	共に生きる（雨電高等養護学校） 将来の設計	
学校行事	施設一体型小中併設校の環境を活かした小中連携強化 ○小中一貫のねらい 学びの連続性を保証し、義務教育9年間を修了するにふさわしい15歳の学力・体力・豊かな心を身に付けさせる。 ○目指す児童生徒像 「心身を鍛え、知を磨き、ふるさと雨電に誇りを持つ児童生徒」					避難訓練 交通安全教室 クリーン作戦				
							薬物乱用防止教室		薬物乱用防止教室	
能力	『雨電町ふるさとキャリア教育』で育成を目指す資質・能力（基礎的・汎用的能力）									
人間関係形成能力・社会関係形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができることともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。 【具体的な要素】 他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ等	◎		○						
		・あいさつや返事をしたり、「ありがとう」や「ごめんなさい」を言ったりする。 ・友だちの考えを聴き、よいところを見つけ、仲良く活動しようとする。		・自分の意見や気持ちをわかりやすく表現する。 ・友だちの考えを聴き、いいところを取り入れたり、違いを認めたりして、進んで活動しようとする。		・異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。 ・友だちの考えや立場を認め、目的に向かって高め合おうとする。		・自他のよさに気づき、自ら進んで豊かな人間関係を築こうとする。 ・他者の立場や考えを尊重し、学校生活、社会生活に意欲的に取り組む。 ・リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。		
自己理解能力・自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために学ぼうとする力。 【具体的な要素】 自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等	○		◎		○				
		・自分の好きなことや嫌なことをはっきり言う。 ・活動の内容がわかり、最後までやり通そうとする。		・自分のよいところを見つける。 ・やろうと決めたことは責任をもって最後までやり遂げようとする。		・自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮する。 ・自分の仕事や活動に責任や見通しをもって最後まで取り組もうとする。		・自分の個性や適性に関心をもち、自分らしさを発揮しようとする。 ・自己の適正に応じた職業について考え、将来の生き方に関心をもつ。 ・自分の悩みを話せる人をもつ。		
課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。 【具体的な要素】 情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等					◎		○		
		・自分の好きなもの、大切なものをもつ。 ・知りたいことや興味のあることを進んで調べることができる。		・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。 ・いろいろな方法で調べ、自分の力で解決に向けて努力する。		・係活動などで自分のやりたい係、やれそうな係を選ぶ。 ・多様な方法で情報を集め、見通しをもって主体的に、解決に向けて追究することができる。		・自らの生活や将来設計について課題意識をもち、その実現方法を考え、意欲的に学び続けようとする。 ・取り組むべきことを自ら見つけ、集団生活に進んで参加する。 ・必要に応じ、獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。		
キャリアグラブプランニング	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択し、活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。 【具体的な要素】 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善等							◎		
		・作業の準備や片づけをしたり、決められた時間やきまりを守ろうとしたりする。 ・身近にいる人々の様子がわかる。		・将来の夢や希望をもつ。 ・役割の大切さや活動の楽しさがわかる。		・将来のことを考える大切さがわかる。 ・働くことの大切さややりがい、苦労がわかる。		・自己の進路や生き方を考え、進路選択のための計画を立てることができる。 ・様々な体験での学びを、自己の生き方に対する考えや社会生活に必要な能力等の視点からまとめ、進路選択に活かす。 ・将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。		

「◎」「○」～各学年で重点的に育成する能力 【例】小学校低学年～「人間関係形成・社会形成能力」 小学校中学年～「自己理解・自己管理能力」 ※印がついていない能力についても、年間を通してバランスよく育成することができるよう、それぞれの学習活動のねらいに明示し、評価する。